



ひょうごの農林水産技術

— 農業編 —

No. 219 2022(令和4年). 11.

特集 スマート農業技術の開発

近年、農業従事者の高齢化が進み、担い手が不足している中、省力的で効率的な農業の推進が求められている。本県では「ひょうご農林水産ビジョン2030」の推進項目に「スマート化による新しい農林水産業の実現」を掲げてスマート農業を推進しており、当センターでは、スマート農業技術の開発を中期業務計画の重点化方向の一つに位置づけている。今回はそれらの中から、土地利用型作物及び施設園芸分野の3課題について紹介する。



DIY型環境制御システム導入ハウスで栽培しているトマト（中央）
自作した環境制御ユニットの内部（左）と炭酸ガス施用装置（右）



農業用ドローンによる播種作業の省力化 スマホアプリ「Rice Cam Y」による「山田錦」の穂肥診断

目次

特集 スマート農業技術の開発

- 1 手軽に酒米「山田錦」の穂肥診断ができるスマートフォンアプリ「Rice Cam Y」…………… 2
- 2 農業用ドローンによる水稻鉄コーティング湛水直播一貫体系…………… 3
- 3 DIY型環境制御システムによる施設トマトの増収実証…………… 4

研究成果の紹介

- 1 培地への送風で県育成イチゴ品種「紅クイ

- ーン」の花芽分化を安定化…………… 5
- 2 レタスビッグベイン病の発病を抑制するカラシナの適正すき込み量の検証…………… 6
- 3 振動を利用したコナジラミ類防除法の開発…………… 7
- 4 低タンパク質飼料で肥育牛の肝臓への負荷を軽減…………… 8

トピックス

- スクミリングガイの越冬可能地域の推定…………… 9

普及現地情報

- 作業負荷の軽減を目的としたレタス調製作業の改善…………… 10